

# 宮西達也さんと119人で圧巻の作品

オーサービジット②兵庫・明石市立清水小



①描いた絵は額縁の中へ  
②午前の作品  
③午後の作品  
④宮西さんがやって来た!

絵本作家の宮西達也さんのオーサービジットは兵庫県明石市の市立清水小学校。2年生の119人がみんなで大きな作品を作ります。

12月13日、宮西さんは朝9時前に北門から車で学校入りしました。すると、築田憲男校長が「実は、2年生全員が正門でお出迎えする準備をされていて……」。そこで宮西さんはいったん校外に出、築田校長のゴーサインで再度、正門から登場しました。大きな拍手で迎えた子どもたちは、それぞれ宮西さんの絵本のキャラクターのお面を頭にかぶったり、自作

のメッセージカードを持ったり。その列の中を、宮西さんは笑顔でハイタッチしながら通り抜けました。

体育館で授業が始まりました。最初は宮西さんによる自作の読み聞かせ。いろいろな動物が返事をする「はーい!」、仲良し兄妹を描いた「まねしんぼう」、そしてティラノサウルスが主人公の人気作「おまえ うまそうだな」の3作品です。お話が進むにつれ、子どもたちも真剣な眼差しで聞き入っていました。

そしてワークショップ。段ボールの小片に思い思いの絵を描き、あとで一つの

作品にまとめます。違う絵でも何かのルールを守れば、ちゃんと1つのものができることを学んでもらう狙いです。使う色は黒とオレンジの2色。これも統一感を出すためのルールです。読書ボランティアと図書ボランティアがサポートに入ります。

人数が多いので前半と後半の二組に分かれて行います。テーマは前半組が「水の中に住んでいるものとオバケ」、後半組が「空にいるものとオバケ」。どちらもオバケが入っています。「自分の想像だよ」と宮西さん。子どもたちの間を回

り、「きれいだね」「もうちょっと大きく描いてね」と声をかけ、頭をなでます。

地元明石の名産・タコをはじめ、魚やカニ、クラゲ、飛行機、気球、UFO、様々なオバケ……。描いた絵はハサミで切り抜き、宮西さんが大きな額縁の中に貼っていきます。こうして立体感のある大きな2つの作品が出来上がりました。「圧巻だったと思います」と宮西さん。

築田校長は「子どもたちは心から楽しみながら取り組んでいました。体全体で喜びや驚きを表現していたことに感激しています」と述べました。

# 尾木直樹さんと一緒に悩みを解決しよう

オーサービジット③埼玉・三郷市立新和小



①盛大な拍手を浴びながら、尾木直樹さんが登場  
②子どもたちの意見を聞きながら、話を進めていく  
③児童と先生、保護者、尾木さんで記念撮影  
④保護者が作った手のアーチをくぐって退場

「尾木ママ～、どうぞ～!」「はーい、どうも～」

12月16日、埼玉県三郷市の市立新和小学校(小河純校長・児童1082人)の体育館に、教育評論家の尾木直樹さんが登場しました。待っていたのは5・6年生320人と、保護者ら約200人です。

尾木さんは事前に児童にアンケートを実施し、特に「悩み」に着目。「勉強しろと言われると、やる気がなくなるのはなぜですか」という回答をとりあげました。小・中・高校の先生として44年間教壇に立ってきた尾木さんは、「勉強で

きる子って、不思議と親から言われる前に自分から取り組む」と感じたそうです。「教育の大きな目標は『自立』。それは、だんだん大人になっていく証拠。5・6年生ぐらいから自立しようと思始めるの」。この時期、体が急に成長するのは、成長ホルモンや性ホルモンの影響を受けるからです。その分泌に脳が刺激され、自分の体のコントロールが難しくなり、脳の中の感情を爆発させる部分がエネルギーを持つそう。でも感情をコントロールする力は発達途上。「いろんな悩みがぐちゃぐちゃになる。それが思春期

のいらつきなの」

有り余るエネルギーの使い方については「詩や小説を書いたり、哲学書を読んだり、スポーツに打ち込んだりして発散してもいいわね」とアドバイスしました。

さらに尾木さんがどうしても伝えたいのはスマホの使い方。ゲーム依存は「病気」であり、それを防ぐため、アメリカや韓国では国がルールを定めているそうです。日本にルールがないことに、危機感を持つ尾木さん。保護者に「スマホの使い方次第で、自分の子の頭がバカになる」と話し、ルールを決める必要性を訴えました。

いじめ問題にも触れました。ヒントは「リフレーミング」。「落ち着かない元気な子＝活動的、先生に当てられても声が小さい子＝慎重な人、と見方を変えること」だと説明します。個性を排除しないことが「ジグソーパズルのように組み合わせる楽しいクラス作り」につながるのです。

お礼を伝えたのは6年生の高田志帆さん。「親から宿題をやるよう言われる話に共感しました。将来スマホを持ったならゲーム依存にならないようにします。今日教えてもらったことを学校生活に生かせるようにしたい」と話しました。